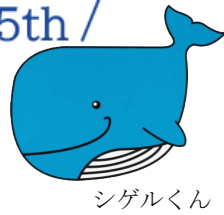
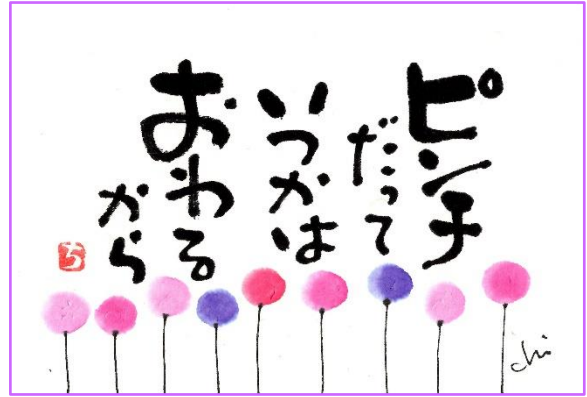


シゲル通信

2020年
7月号
NO. 87



こんにちは 防水工事の茂興業 社長の高橋英樹です。会社の畑は、夏野菜そしてジャガイモが沢山収穫出来ました。今年は、新型コロナウイルス感染拡大の防止対策をしながら、3密にならないよう、皆さんと毎日を送っています。今年の梅雨は昨年比べて長い期間雨が降っています。これから暑い季節を迎えます。美味しいゴーヤを食べて夏を乗り切りましょう。



新型コロナ禍中の九州地方の大雨災害に心からお見舞い申し上げます。自粛解除後の感染者の拡大は日々のニュースで確認しています。更なる新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら社会経済活動を行っていく必要性も感じております。先の見えない不安な時代ではありますが「ピンチだっていつかは終わる」この言葉を胸に秘めてわずかな希望でも持ち、新型コロナ被害からの復興を目指したいと考えます

▲文・絵：ことだま遊書作家：ことだま千絵子

シゲルくんのつぶやき（自転車日本一周の旅 福島潟 編）



さあ、始まりました～自転車日本一周♪
今回目指すは、まだ行ったことがなかった「福島潟」♪
大体こんなルート。けっこう遠回り(@_@)。さらに実際は阿賀野川を渡ってから迷う(笑) 当時はGoogleマップなんてあったかな～なかったかな～・・・？
道が分からなくなると自転車とめて地図を開き(もちろん紙の地図)再確認。
やはり分かりやすい国道がベスト。標識に絶対でてくるので安心。
というわけで福島潟に到着(^o^)/。
距離にして約35キロ。ウォーミングアップ？
辺りにいるのは鴨ばかり…

※自転車日本一周は10年前の旅の記録です。
そして、シゲルくんの正体は・・・



▲この自転車に乗って旅に・・・



☆シゲルくん通信の第87号をお届けします。次回のお役立ち情報をお楽しみに☆



連載第27回 今月のテーマ『なりすまし』



★毎月掲載している挿絵はこちらからどうぞ。インスタ始めました。



★今月のイラスト⇒ 『梅雨が明けたら、Tシャツが気持ち良い暑すぎない爽やかな夏となりますように』

こんにちは(^^) 自称、茂興業内で一番の映画好き、増村文武です。

今月もテーマに沿っておススメの映画を御紹介させていただきます(^^)

さて、今回のテーマは 『なりすまし』

他人になりすまして目的を果たそうとする人間の飽くなき欲望と挫折は、映画のテーマとしては格好の題材!

ということで、今月はさまざまなかたちでの”なりすまし”をテーマにした、選りすぐりの3本を御紹介(^^)

① 『パラサイト 半地下の家族 (2019年 韓国映画)』

一家のあるじは失業中、半地下の住まいに暮らす貧困家族が、あるきっかけをチャンスに広大な豪邸に住むある金持ち家族との関わりを深め、痛快な偽称方法で手玉にとりながらお金を吸い取っていくブラック・コメディー パラサイト=寄生という題名通り、まさにじわじわと宿主に寄生していく病原体のごとき巧妙ななりすまし行為を家族総出で連発していきますが、中盤以降の予想外の展開が貧乏家族を逆に追い詰めていきます(👊) 随所にちりばめられたブラックなユーモアとあいまって苦笑い連発! 失業中のあるじを名優ソン・ガンホが妙演(👏) アジア映画として初めてカンヌ映画祭パルム・ドールとアカデミー賞作品賞のW受賞の快挙を達成! 現代韓国映画らしい妙とどきどき感、ブラックな後味の悪さと共にエンディングのなんとも言えぬせつなさも詰まった、おススメの一本です(👍)

② 『テイキング・ライブス (2004年 アメリカ映画)』

主演のアンジェリーナ・ジョリー、若いですね(😊) 原作小説の原題は『人生を盗む男』(👁) 人を殺してはその人物になりすまし、地位を乗っ取って殺人を続ける犯人を追うプロファイリング(犯罪の性質や特徴から行動科学的に分析し犯人の特徴を推論すること)専門官の奮闘を描きます FBI特別捜査官の女主人公を演じるジョリーと猟奇殺人犯との駆け引きが見どころ(👁) イーサン・ホーク、キーファー・サザーランドなど、俳優陣が今見返すと豪華です☆ 『羊たちの沈黙』や『X-ファイル』が流行ったせいで、やたらとFBIの特別捜査官によるプロファイリングを題材にした映画が増えました、この頃(👁) 駄作も増産しましたが、本作はエンターテイメントとして楽しめて合格点ではないでしょうか♪ テーマ曲のU2『BAD』も、今観返すとあの頃に戻れて懐かしい限り(ノ)

③ 『リプリー (1999年 アメリカ映画)』

往年の名作、ルネ・クレマン監督、アラン・ドロン主演の『太陽がいっぱい』の、リプリー的映画と言える本作 アラン・ドロンに代わる主人公を、若〜いマット・デイモンが演じています 相手役の男にはジュード・ロウ、ヒロインにグウィネス・バルトローという俳優陣を配し、この作品も今考えるととても豪華☆ デイモン演じる貧しい青年リプリーが大富豪の御曹司息子に取り入れた上にやがて彼を殺害、殺害した男になりすまして彼の恋人までも手に入れようとしますが... アラン・ドロンとマット・デイモン、何かと比較されて痛い本作ですが、本作には本作なりの良さがあります 感動作『グッド・ウィル・ハンティング』や本格的に第一級俳優に躍り出た『ジェイソンボーン・シリーズ』も良いですが、青二才感多めのマット・デイモンの複雑な表情や魅力が感じられる貴重な一本であります(👏) そして彼を間違いなく本作で引き立てたのは、冷たい太陽のように輝いていた当時のジュード・ロウですね♪

もし御興味が沸いてきましたら、皆様もぜひ一度御鑑賞を (^^)☆

グリーンカーテンで暑い夏を快適に!!



会社では、新型コロナウイルス感染対策のために、室内の定期的な換気を行っております。

この夏は、葉っぱの蒸散作用で周囲が冷える「グリーンカーテン」がおすすです。左の写真は、会社玄関前に設置したゴーヤのグリーンカーテンです。夏の強い直射日光をカットしてくれます。



茂興業株式会社は持続可能な開発目標(SDGs)に取り組んでおります

